

(別添7)

事業所名 グループホーム敬天

2 目標達成計画

作成日: 平成 24 年 4 月 18 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間	
1	21	(利用者同士の関係の支援) 利用者同士で声をかけ合い、食事の準備や片付けをしているが、一緒にできず、離れて見ている利用者がある。	利用者が、それぞれの役割をもって、声をかけ合い、進んで食事の下ごしらえや準備、片付けを行う。	得意な事を利用者が進んで行えるよう、職員はさりげない声かけなどの介入を行う。離れて見ている利用者には、一緒に出来る環境を整え、利用者同士で声をかけ合える関係作りに努める。	6ヶ月
2	23 (9)	(思いや意向の把握) 自分の思いや希望をうまく伝えられない利用者があるのではないかと	1人ひとりの思いを把握し、寄り添い、利用者の本位に添ったケアを行う。	利用者懇談会を毎月開き、自由に話し合う機会をもつ。思いを上手く伝えられない利用者には、普段の会話や様子を観察しながら、情報を共有していく。	6ヶ月
3	50	(お金の所持や使うことの支援) 買い物へ行く時、職員が管理していることが多い。	自分の財布から、欲しい物を買うことが出来る。	買い物へ行く時は、必要なお金を自分の財布に入れて持って行き、自分で払っていただく。職員はそばで見守る。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。